

応募の
決め手

若手ドライバーの

SNSで魅力PR

イー・シー・トランスポートの棟近花音さん(右)と坂内蒼空さん(左)



入社決めた若手の声

イー・シー・トランスポート(篠田昌孝社長、埼玉県戸田

若い働き手の採用はドライバー職のみならず、いまやどの会社、業界も苦戦しており、インターンシップを受け入れる、近隣の学校との関係構築を図るなど、積極的な採用活動をしている企業も存在する。採用活動のなかで近年注目を浴びているのはSNSの活用だ。入社後にギャップがないよう、業務内容や先輩ドライバーのインタビュー動画などをアップしている会社も少なくない。今回は若手採用のためにSNSを活用し、採用を成功させている企業と実際にSNSを見て応募を決めたドライバーに話を聞いた。(荒沼 湧、越後桃子)

市)では、インスタグラムやTikTokなど複数のSNSアカウントを持つ。同社には動画の撮影などを行う広報担当がいて、求職者を含め社内外にPRを行っている。

その結果、同社のSNSを見て求人に応募してきた若手人材がいる。山口県から来た棟近花音さんと地元埼玉県の高校

を卒業した坂内蒼空さんだ。

2人は口をそろえて「SNSで見た動画で、アットホームな職場だとわかった」と話す。

棟近さんは運転が好きだったため、ドライバー職を希望し、求人サイトなどで探していた。どこも文字と写真だけだったが、同社は動画もあり、「地元の山口県と、遠い県と関係なく行ってみよう、挑戦してみよう」と思ったという。

一方、坂内さんは最初こそ「どんな仕事でもいいや」という思いもあり、在学中に経験した物流業に関係した仕事を探していた。

2人ともSNSで仕事の内容や雰囲気があった同社に就職しようと決めたという。現在、2人は入社後のギャップもなく、仕事にまい進している。

坂内さんは、「社名の『イー・シー(AIC)』という文字はオールチャレンジという意味が込められている」とし、「その精神で自分も会社も大きくなっていく」と語る。

棟近さんは「女性のドライバーが少ない。女性でもドライバーができるんだよ」というのを見せたというのを聞いた女性ドライバーの仲間が増えてほしい」と話している。

どのように会社PR?

平田運輸(平田優太郎社長、兵庫県加西市)では、約5年前からYouTubeとFacebookを運用している。昨年1月からはTik

TokやInstagramでショート動画を投稿し、会社の魅力発信に努めてきた。撮影は社長が行い、編集はドライバーが担当する。